

◆ “ふるさとちば”のための政策推進を◆



発行／自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

# 地域を代表して多くの要望



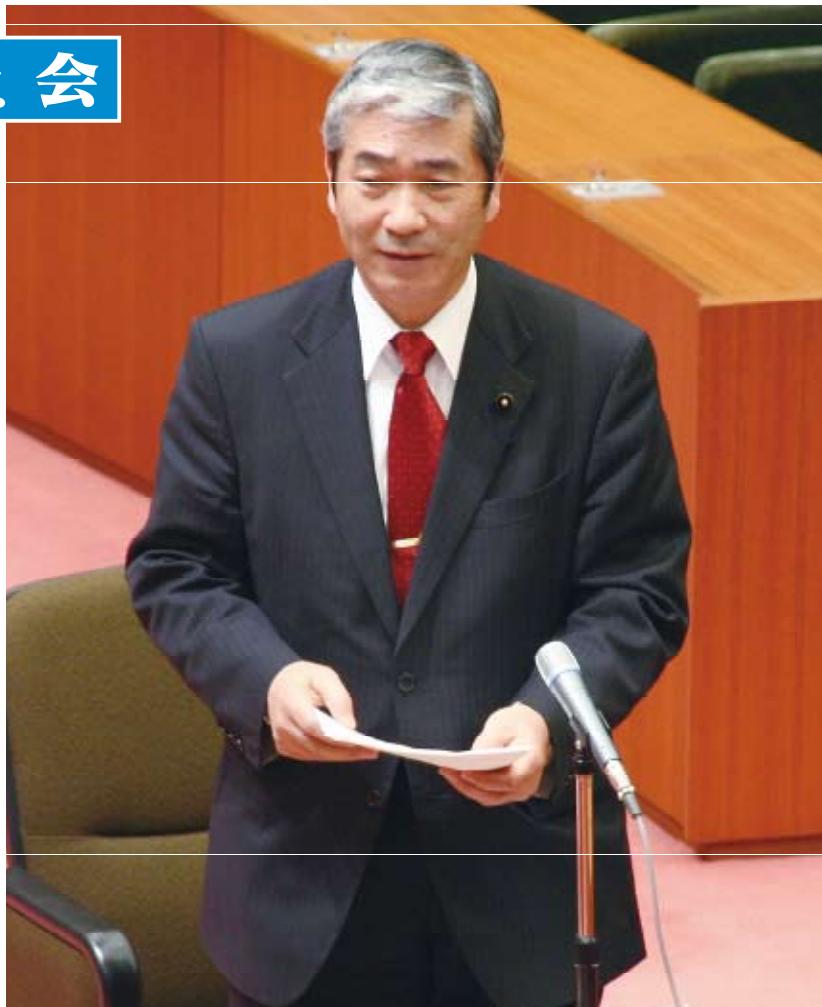
# 地域産業の発展に多大な貢献

## 2月県議会 予算委員会

### 茂原市特集

2年前の県議補選で、茂原市選挙区から見事議席を勝ち取った鶴岡宏祥(つるおか・ひろよし)県議は、2月定例議会の予算委員会で早くも4度目の本会議場での質問戦に臨み、圏央道の早期整備促進について、平成24年度の開通が確実なものとなるよう、地元茂原市を代表して強く要望しました。

また、専門分野の農業問題では、地域の水田農家の実情を訴え、戸別所得補償制度の周知徹底を図るよう求め、TPP(環太平洋パートナーシップ協定)については、制度の内容を正しく県民に知らせるよう県に要望しました。「茂原にいはる工業団地」の推進など、予算委員会での鶴岡



本会議場で開かれた予算委員会で質問する鶴岡県議

## 東金木更津間の見通し

**鶴岡議員** 私の地元の茂原市ののみならず、長生郡市の発展のために、圏央道の整備は欠くことのできないものと考えます。圏央道の整備効果は、県内の成田、茂原、木更津などの都市に加え、広く首都圏の各都市と連絡し、生活における行動範囲を広げるとともに、地域産業の発展に多大な貢献をします。さらには、災害時などにおける緊急輸送道路としての役割も担っています。

私が、企業の方と話しますと、高速道路の開通は、製品の販路拡大や得意先への迅速な対応が可能となるので、施設の拡大や企業進出などにあたり重要な判断事項になるので、圏央道の開通は強く望まれているとのことでした。

平成24年度に予定されている圏央道の東金から木更津間が開通しますと、成田空港方面や千葉方面、東京湾アクアラインを利用して川崎や横浜方面との連絡が大変便利になります。圏央道の予定どおりの開通が確実なものとなるよう、地域を代表して強く願うものです。

## 大栄横芝間の見通し

**鶴岡議員** 圏央道は全線が開通し、環状道路を形成することで本来の機能が発揮できるものと考えますが、大栄から横芝間の18・5キロについては、圏央道の総延長約300キロの中で、唯一

調査の結果をもとにした道路の設計が進められているところです。

鶴岡議員 圏央道の大栄から横芝までの区間にについて、県は今後、どのように取り組むのか。道路計画課長 早期に開通目標が示されていません。この区間の進捗状況はどうか。

鶴岡議員 圏央道の大栄から横芝までの区間にについて、県は今後、どのように取り組むのか。道路計画課長 早期に開通目標が設定され、一日も早い完成が図られるよう、引き続き国へ強く働きかけてまいります。

そこで、伺います。圏央道の東金から木更津東までの整備状況と、今後の見通しはどうか。

**道路計画課長** 1月末現在の用地取得率は約98%で(仮称)小西トンネルなどの工事が行われているところです。平成24年度の開通目標に向け、ほぼ全線で工事が行われています。

## 地域の思いを県政に

●茂原市や県政のご相談、ご要望をお聞かせください

**鶴岡ひろよし** 県事務所  
〒297-0037 茂原市早野2130 TEL.0475(27)2601/FAX.0475(26)2839

平成23年3月26日(土曜日)

## 鶴岡ひろよし県議会リポート

# 水田農業の経営不安訴え!

## 戸別所得補償制度をたたかず

鶴岡議員 わが国農業・も多いと思います。

農村は危機的な状況にあると言われていますが、私の地元でも「担い手の高齢化によって、貸していた農地が返され、新たな借り手が見つからない」といった声も聞こえてきます。水田農業は、追い討ちをかけるよう

に、平成22年産米の農家への仮払い価格は、コシヒカリで1俵1万円と前年より2千円も下落しており、経営に不安を持っている農家

生産販売振興課長 平成23年度から本格実施される「農業者戸別所得補償制度」として、本格実施することとしています。



関係者と共に現地視察する鶴岡県議(中央)

と、水田転作の麦・大豆などに対する「水田活用の所得補償」の助成措置は、同水準になるなど、概ね同様の制度となっています。

鶴岡議員 「モデル対策」では、全国の農家の加入率が75%に上る中で、本県の

周知資料を活用して制度の周知に努めているところで

ます。また、市町村やJAでは、集落説明会や相談会の開催、土地改良区など各種団体を通じ、国や県が作成した周知資料を活用して制度

性が飛躍的に向上しています。工業団地整備検討委員会の検討状況と「茂原による工業団地」に対する評価はどうか。

企業立地課長 同委員会では、主に工業団地整備の基本方向や整備個所を選定するための評価基準などをについて検討しています。茂原における工業団地を含め、今回検討対象となっている7カ所の用地の評価について

は、交通アクセスや周辺の

労働力、工業団地整備の容

易性などをさまざま観点から評価することになります。

河川整備課長 赤目川に

ついては、昨年7月に萱場

地区で河道掘削に伴う地下

水低下対策の地元説明会を行ったところです。また、

上流の法目地区でも同様に、

は、いつ決定するのか。

商工労働部長 本年度中

に検討委員会の意見を踏まえ、候補地を絞り込むこと

にしています。さらに来年度

は、いつ決定するのか。

鶴岡議員 整備する場所

は、いつ決定するのか。

鶴岡議員 いつ決定するのか。

鶴岡議員 いつ決定するのか。